

ニッペ 1液ファインウレタンU100 木部下塗



■色相イメージ

チョコ淡:

白:

※色相イメージは印刷のため実際の色とは異なります。塗板見本などにてご確認ください。



■特長

- 肉持ちがよく廻縁・巾木などのラワン材や、木毛板などの目止め用に効果を発揮します。
- 速乾性で、研磨可能までの時間が短く、工程を短縮できます。
- 建築基準法に基づくホルムアルデヒド放散等級F☆☆☆☆

※1液ファインウレタンU100木部下塗の上に強溶剤系塗料は使用しないでください。
※1液ファインウレタンU100木部下塗はエポキシ樹脂塗料であるため「1液ファインウレタンU100」は混合して使用しないでください。

■荷姿

容量	色相
15kg	白、チョコ淡
3kg	

1液ファインウレタンU100専用弾性添加剤

ニッペ 1液ファインウレタンU100 弾性添加剤

本品は現場で1液ファインウレタンU100に添加しますと弾性となる弾性添加剤です。

■特長

- 混ぜた翌日も、そのまま使えます。
- 低汚染などの性能はそのまま!!
- とにかく経済的!!
- 幅広い適応性、すぐれた性能。

■荷姿

	15kg(18L缶)の場合	3kg(9L缶)の場合
容量(使用する添加剤)	0.75kg	0.15kg
混合比	塗料:添加剤=20:1	



油性系塗料専用・現場用着色剤

カラーマックスFA

よく混ざる きれいに混ざる



カラーマックスFAは高耐候性を兼ね備えた画期的な油性系塗料専用・現場用着色剤です。
※1液ファインウレタンU100以外に、その他、油性系塗料への添加が可能な商品もございます。
※添加量の上限は3%となっております。

ターペン可溶1液反応硬化形ウレタン樹脂塗料用

ニッペ 1液ファインウレタンU100 フラットベース



本品は1液ファインウレタンU100に適用できるつや消し剤です。また、1液ファインウレタンU100以外にも弊社製品で適用できる商品もございます。

■荷姿 0.8kg

※ご使用前に、必ずよく振ってください。

■つや調整表

塗料タイプ	色相	お手持ちのつやの状態	7分つやにする場合	5分つやにする場合	3分つやにする場合
1液ファインウレタンU100 (NAD1液タイプ)	白および淡彩	つや有り	2%	5%	—
		7分つや	—	2%	4%
		5分つや	—	—	2%
	中彩および濃彩	つや有り	5%	10%	—
		7分つや	—	4%	6%
		5分つや	—	—	3%
ファインウレタンU100 (NAD2液タイプ)	白および淡彩	つや有り	5%	10%	—
		7分つや	—	4%	6%
		5分つや	—	—	3%
	中彩および濃彩	つや有り	6%	12%	—
		7分つや	—	6%	12%
		5分つや	—	—	4%

※上記商品には「つや消し」の設定はございません。耐候性を損なうおそれがありますのでつや消しにはしないでください。
※本品は混入しすぎますと塗膜厚積りなり性能を損ないますのでつや調整範囲は限られた範囲になります。
また、中・濃彩は淡彩に比べ樹脂含有量が多いため、添加量に差がございます。

●本カタログの内容については、予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
●本カタログ中の商品名・会社名は、日本ペイント株式会社、その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
●©Copyright 2011 NIPPON PAINT Co.,Ltd All rights reserved.

詳しくは、各製品のカタログをご覧ください。

日本ペイント株式会社

お客さまセンター

☎ 03-3740-1120

☎ 06-6455-9113

http://www.nipponpaint.co.jp/

●当社は2011年3月現在ISO14001を全事業所で認証取得しています。
●このカタログは、再生紙を使用しています。

■詳しい情報はホームページで

日本ペイント 建物 検索

http://www.nipponpaint.co.jp/biz1/building.html

カタログNo.

NP-O155

MA110315T

2011年3月現在

ニッペ 1液ファインウレタンU100

1液ウレタン樹脂塗料のベストセラー



ホルムアルデヒド放散等級

F☆☆☆☆



1液ファインウレタンU100シリーズ▶1液ファインウレタンU100/1液ファインウレタンU100弾性添加剤/1液ファインウレタンU100フラットベース

塗り替え・新設のあらゆるシーンで 皆様のニーズにお応えします。



環境にやさしい

鉛などの重金属を配合していません。
(もちろん、ホルムアルデヒド・クロロピリホスも配合していません。)



F☆☆☆☆
(使用面積制限なし)

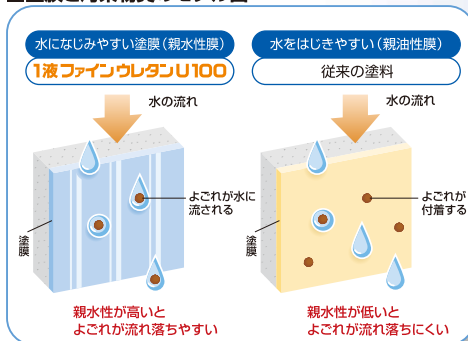
低汚染性 ~雨垂れ汚染試験による汚染性能試験~

雨垂れ汚染試験による汚染性能試験

屋外にて塗板を暴露し、雨筋状のよごれのつく程度を目視により測定します。試験開始6ヶ月後では、非低汚染形塗料と比べて雨筋状のよごれが少ないことがわかります。

雨垂れによる汚染などを防止するためには、塗膜表面が水になじむような性質であれば雨垂れによる汚染などの防止効果があります。カーボンなどの汚染物質には油の性質があり、塗膜表面も水をはじくような油の性質(親油性)を持っていると、汚染物質が表面に付着しやすくなります。しかし塗膜表面に水になじむような性質(親水性)があると、油の性質の汚染物質は付着しにくく、降雨時の雨水によって汚染物質を流すことができます。

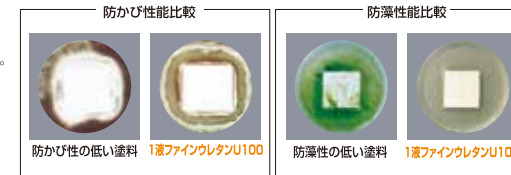
塗膜と汚染物質のモデル図



※独自のセラミック親水化技術で、すぐれた低汚染性を発揮します。

防藻・防かび

藻やかびを抑えます。
最先端のバイオ技術で、藻、かびの繁殖を抑制します。



高耐候性 ~劣化促進機による試験~

1液ファインウレタンU100は架橋による三次元網目構造技術により、すぐれた耐久性を発揮します。

透湿性

透湿性が高いため建物内の結露の発生を抑制します。

ターペン可溶

塗料用シンナーで希釈するタイプですので、改修時に下地を気にせず安心してご使用いただけます。また、臭気がマイルドで作業環境にもやさしい塗料です。

1液架橋ウレタン樹脂

2液の信頼性を1液常温反応硬化NAD技術で実現しました。硬化剤を入れる必要がないため、硬化剤を入れ忘れ、計量の煩わしさがありません。また2液特有のポットライフ(可使用時間)がありませんので、塗料をムダにしません。

抜群の作業性・多目的用途

塗装時の発泡もなく、抜群の塗りやすさです。素早く乾燥するので、冬場でもすぐれた作業性を発揮します。また、各種外壁(サイディングボード・モルタルなど)、鉄部、FRP、硬質塩化ビニルなどの新設、塗り替えに幅広く適用できます。

さらに シリーズ商品を添加すれば、こんなことも...

現場で弾性仕様に変更可能 ※「1液ファインウレタンU100弾性添加剤」を添加した場合

「1液ファインウレタンU100弾性添加剤」を入れるだけで「1液ファインウレタンU100」の性能を損なうことなく弾性になります。硬化剤ではありませんので、混ぜた翌日から1週間程度使用することができます。(つや有り専用)

現場でつや調整可能 ※「1液ファインウレタンU100フラットベース」を添加した場合

「1液ファインウレタンU100フラットベース」を添加することで、つや調整ができます。

※ご使用前に、必ずよく振ってください。

商品体系

工程	商品名	系統	容量	色相	つや	塗り面積/缶当たり/1工程	ポットライフ(23℃)
下塗り材	アンダーフィラー弾性エクセル	可とう形改修塗材E	16kg	ホワイト	—	12~20m ²	—
	ファイン浸透シーラー	ターベン可溶2液エポキシ樹脂シーラー	15kgセット (12.5kg/3.25kg)	透明	—	75~93m ²	6時間
	ニッペ水性カチオンシーラー(透明・ホワイト)	水性カチオンエポキシ複合形下塗り材	15kg	乳白色・白	—	93~150m ²	—
	1液ファインシーラー	ターベン可溶1液反応硬化形特殊アクリル樹脂下塗り材	14kg	淡褐色	—	73~93m ²	—
	1液ハイボンファインテクロ	ターベン可溶1液速乾変性エポキシ系さび止め塗料	16kg	グレー・クリーム赤さび・ホワイト	—	106~123m ²	—
	1液ファインウレタンU100木部下塗り	ターベン可溶速乾木部下塗り塗料	3kg・15kg	白・チョコ淡	—	75~125m ²	—
主材	タイルラックEMA-Sベース100K	壁面化粧仕上げ材(複層塗材E)	20kg	白	—	10~14m ²	—
	DANタイル中塗り	弾性壁面化粧仕上げ材(防水形複層塗材E)	20kg	白	—	11~25m ²	—
上塗り材	1液ファインウレタンU100	ターベン可溶1液反応硬化形ウレタン樹脂塗料	15kg 3kg	各色	つや有り	93~125m ²	—
					7分つや有り		
					5分つや有り		
添加剤	1液ファインウレタンU100弾性添加剤	1液ファインウレタンU100専用弾性添加剤	0.15kg・0.75kg	—	—	—	—
	1液ファインウレタンU100フラットベース	ターベン可溶1液反応硬化形ウレタン樹脂塗料用つや消し剤	0.8kg	—	—	—	—
	カラマックスFA	油性系塗料専用・現場用調色剤	400ml	各色	—	—	—
	適用下地	●コンクリート面(現場打ち) ●モルタル仕上げ面 ●塗り替え改修用(アクリルリシン、吹付けタイル、その他旧塗膜) ●ALCパネル ●鉄部					

※上記に記載されている1缶当たりの塗り面積は、1工程当たりの塗り面積です。また、あくまでも目安であり、素地の形状により増減しますので、あらかじめご了承ください。
 ※2液形塗料は、塗料液に硬化剤を加えてかくはんし、ポットライフ時間内に使用してください。
 ※下塗り材に「ニッペ水性カチオンシーラー」をご使用される場合、必ず主材をご使用ください。
 ※押出成形セメント板やGRC板に1液ファインシーラーをご使用になられる場合、弾性仕様での塗装はできません。
 注1 右ページに記載の「標準塗装仕様」の数値は、すべて標準の数値です。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまちってください。(幅割、乾燥不良、付着不良などが起こります。)
 旧塗膜は、健全な状態であることを想定しています。
 注2 2カタログに記載されている内容は一般的な環境下での施工を想定して記載されており、特別な環境が想定される施工現場・部位に塗装される場合は、事前に必ず当社営業までご相談いただきますようお願いいたします。

〈使用上の大切なお知らせ〉

「ニッペ1液ファインウレタンU100」は一般的な内・外装を対象とした化粧用塗料です。耐磨耗性・耐油性・耐溶剤性等が求められる下図の部位には使用できません。

(理由：塗膜が軟化、磨耗により粘着や色うつりする場合があります。)



カウンター・床面



本棚・戸棚類



遊具・ペンチ類



プラント・設備類
(耐油・耐溶剤性が必要な場合)

※上記のような塗装部位については弊社にご相談ください。

標準塗装仕様 塗り替え

●各種外壁 吹付けタイル・サイディングボードなどのトップコートの塗り替え

工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率%	塗装方法
下地改修工事	下地改修工事が必要な場合は、下地調査結果に基づいて、塗装工事前に実施する。						
下地調整	活膜を残し、膨れたり、割れたり、浮いている劣化塗膜は、周辺を含めて入念に除去する。ごみ、砂じん、油脂分などの付着物をワイヤブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。						
上塗り①	1液ファインウレタンU100	1	0.12~0.16	3時間以上	塗料用シンナーA	3~8	ウールローラー エアレスプレー
上塗り②	1液ファインウレタンU100	1	0.12~0.16	—	塗料用シンナーA	8~13 3~8	ウールローラー エアレスプレー

サイディングボードなどの塗り替えで、下地・旧塗膜の変化が著しい場合には、付着不良などの不具合を生じる場合がありますので、下塗りに「ニッペファイン浸透シーラー」を塗装してください。
 ●コンクリート・モルタル面 微弾性フィラーを用いた塗り替え

工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率%	塗装方法
下地改修工事	下地改修工事が必要な場合は、下地調査結果に基づいて、塗装工事前に実施する。						
下地調整	活膜を残し、膨れたり、割れたり、浮いている劣化塗膜は、周辺を含めて入念に除去する。ごみ、砂じん、油脂分などの付着物をワイヤブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。						
下塗り	アンダーフィラー弾性エクセル	1	0.80~1.30	4時間以上	水道水	1~5 2~5	砂骨ローラー 吹付け
上塗り①	1液ファインウレタンU100	1	0.12~0.16	3時間以上	塗料用シンナーA	3~8	ウールローラー エアレスプレー
上塗り②	1液ファインウレタンU100	1	0.12~0.16	—	塗料用シンナーA	8~13 3~8	ウールローラー エアレスプレー

●一般鉄部

工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率%	塗装方法
下地調整	膨れたり、割れたり、浮いている劣化塗膜は、周辺を含め入念に除去する。さびは電動工具や、サンドペーパー・研磨布などを用いて除去し、清掃する。						
下塗り※	1液ハイボンファインテクロ	1	0.13~0.15	4時間以上7日以内	塗料用シンナーA	5~10	はけ・ウールローラー
上塗り①	1液ファインウレタンU100	1	0.12~0.16	3時間以上	塗料用シンナーA	3~8	はけ・ウールローラー エアレスプレー
上塗り②	1液ファインウレタンU100	1	0.12~0.16	—	塗料用シンナーA	8~13 3~8	はけ・ウールローラー エアレスプレー

一般鉄部には上記のさび止め塗料以外に、ハイボン20デクロ、ハイボンファインプライマー、速乾シアマドヘルゴン下塗、速乾P2ヘルゴンエコ、パーフェクトプライマーなども使用できます。さびが発生しやすいエッジ部もしくはさびが発生している箇所を塗装する場合、入念なクレン後、下塗り塗料(さび止め塗料)で部分補修塗りをしてから下塗りしてください。

●木部(破風など)

工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率%	塗装方法
素地調整	よごれ、付着物などサンドペーパーで除去する。やにはあらかじめラックニスなどで処理しておく。						
下塗り	1液ファインウレタンU100木部下塗り	1	0.12~0.20	4時間以上7日以内	塗料用シンナーA	5~10	はけ・ウールローラー
上塗り①	1液ファインウレタンU100	1	0.12~0.16	3時間以上	塗料用シンナーA	3~8	はけ・ウールローラー
上塗り②	1液ファインウレタンU100	1	0.12~0.16	—	塗料用シンナーA	8~13	はけ・ウールローラー

標準塗装仕様 新設

●コンクリート面 吹付けタイル仕上げ

工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率%	塗装方法
素地調整	ごみ、未硬化セメント粉末、砂じん、油脂分などの付着物をワイヤブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。						
下塗り	ファイン浸透シーラー	1	0.16~0.20	3時間以上7日以内	無希釈	—	ウールローラー エアレスプレー
主材	タイルラックEMA-Sベース100K	1~2※	1.40~2.00	16時間以上	水道水	1~3	吹付け
上塗り①	1液ファインウレタンU100	1	0.12~0.16	3時間以上	塗料用シンナーA	3~8	ウールローラー エアレスプレー
上塗り②	1液ファインウレタンU100	1	0.12~0.16	—	塗料用シンナーA	8~13 3~8	ウールローラー エアレスプレー

●DANタイルの上塗りとして使用できます。 主材の使用量は塗り回数1~2回で使用するトータル量です。

工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率%	塗装方法	
素地調整	ごみ、未硬化セメント粉末、砂じん、油脂分などの付着物をワイヤブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。							
下塗り	ニッペ水性カチオンシーラー透明	1	0.10~0.16	4時間以上	無希釈	—	ウールローラー はけ	
中塗り	ベース吹き	DANタイル中塗り	1	1.40~1.80	4時間以上	水道水	5~8	吹付け
	模様吹き	DANタイル中塗り	1	0.80~1.20	16時間以上	水道水	1~3	吹付け

ヘッド押さえ 必要に応じてヘッド押さえを実施する。(押さえ用ローラーに塗料用シンナーAをつけ、模様吹き工程直後から30分間に凸部を押さえる。)

上塗り	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率%	塗装方法
上塗り(1回目)	1液ファインウレタンU100 + 弾性添加剤(※)	1	0.12~0.16	3時間以上	塗料用シンナーA	3~8	ウールローラー エアレスプレー
上塗り(2回目)	1液ファインウレタンU100 + 弾性添加剤(※)	1	0.12~0.16	—	塗料用シンナーA	8~13 3~8	ウールローラー エアレスプレー

●コンクリート面 平滑仕上げ ニッペ1液ファインウレタンU100弾性仕様は、ニッペ1液ファインウレタンU100弾性添加剤を必ず添加、混合して塗装してください。(塗料:添加剤=20:1)

工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率%	塗装方法
素地調整	ごみ、未硬化セメント粉末、砂じん、油脂分などの付着物をワイヤブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。						
下塗り	ニッペ1液ファインシーラー	1	0.15~0.19	3時間以上	無希釈	—	ウールローラー エアレスプレー
上塗り	上塗り(1回目)	1液ファインウレタンU100	1	0.12~0.16	3時間以上	塗料用シンナーA	3~8 エアレスプレー
	上塗り(2回目)	1液ファインウレタンU100	1	0.12~0.16	—	塗料用シンナーA	8~13 3~8 ウールローラー エアレスプレー

② 詳細な内容については、各商品の製品使用説明書などにてご確認ください。

■施工上の要点

- 1.素地の乾燥は十分に行ってください。(含水率10%以下、pH9以下)
- 2.塗料が均一になるようにかくはんしてください。薄めすぎは隠ぺい力不足、仕上り不良となりますので注意してください。
- 3.シンナーで希釈しすぎると作業性能(ダレ性)などが低下しますのでご注意ください。
- 4.濃彩色の調色には必ず専用原色をお使いください。
- 5.塗装機などの塗装器具は、あらかじめ洗浄し、他の塗料の混入がないようにお願います。他の塗料と混ぜますと、つやびけや性能低下の原因になる場合がありますのでご注意ください。
- 6.はけ、ローラー、塗装機などの洗浄にはラッカーシンナーをご使用ください。
- 7.防藻・防かび効果は、繁殖を抑制するものです。既に繁殖している場合は、下地処理として除去および殺菌処理をしてから塗装してください。
- 8.はけ塗り仕上げとローラー仕上げが混在する場合、使用量、表面肌が異なり、色相差ができますので、はけ塗り部分は希釈を少なくして塗装してください。
- 9.よごれ、きずなどにより補修塗りが必要な場合がありますので、使用塗料の控えは必ず取っておき、同一ロット、同一塗装方法で補修塗装をしてください。
- 10.ALIC面、多孔質下地、コンクリートブロック面などの外部の素地において巣穴や段差などがある場合は、樹脂入りセメント系下地調整材(ニッペセメントフィルター、ニッペフィルター200)などで処理してください。(合成樹脂エマルジョンバターの使用は避けてください。)
- 11.新設の押出成形セメント板、GRC板、フレキシブルボードなどは、下塗り材としてファイン浸透シーラー、1液浸透シーラー、1液ファインシーラーをお使いください。なお、押出成形セメント板、GRC板の場合、1液ファインシーラーの上に弾性仕様(DANタイプ中塗)はご使用にできません。

■注意事項

- 1.塗装場所の気温が5℃以下、湿度が85%以上または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗膜の乾燥過程で種々の欠陥を生じることがありますので塗装を避けてください。
- 2.外部の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合および強風時は塗装を避けてください。
- 3.塗装時、塗料の取扱いは換気を十分にを行い、火気厳禁にしてください。溶剤系塗料のため、室内での塗装時および塗装後も、必ず換気をしてください。また、外部での塗装においても開口部などの養生を行ない、溶剤蒸気が室内に入らないように注意してご注意ください。居住者への配慮をお願いいたします。
- 4.飛散防止のため養生を行ってください。
- 5.シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を起こすことがありますので、行わないでください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化したのちに塗り直すものとし、塗り重ね適合性を確認し、必要な処理を行ってください。またニッペフリードオフプライマーを下塗りすることで、汚染の低減が図れますが、シーリング材の種類、使用条件などによりはかれ、収縮割れが起こることがあります。
- 6.スチールドア枠回りなどシーリング材との接触が起る部分への塗装は避けてください。可塑剤の移行などにより塗膜が軟化、剥離し、シーリング材の機能を損なう可能性があります。
- 7.上塗りにさえたイエロー、レッド、ブルー、グリーン系色相は隠ぺい性が弱いため、隠ぺい性のよい共色を下塗塗装してから上塗りをしてください。
- 8.建物の構造によっては低汚染性が発揮されにくい場合がございます。特に次の条件下で塗装される場合はご注意ください。
 - (1) 笠木などの水切りのない壁面
 - (2) 汚れ成分がたまりやすい突起物の下壁面
 - (3) その他汚れが局所的に溜まりやすい部位の下部
- 9.過剰希釈をすすと本来のつやが発揮しない場合がありますので、標準希釈量をまもってください。
- 10.異なる色相で塗り重ねる場合(例:1回目の上塗りを塗装してから、別な色相でラインや帯などを塗装する場合など)2回目の上塗りから1回目の上塗りを使してラインや帯などが変色(ブルー)により変化する場合がありますのでご注意ください。
- 11.鉄部には直接塗装しないでください。あらかじめ、さび止め塗料を塗っておく必要があります。
- 12.エスパーワンルでの逆タッチアップはしないでください。
- 13.カウンター、陳列棚、ベンチ、床面などが常時おかれるような場所には塗装しないでください。油脂分(人の手油などを含む)やアルコールなどがつくと、塗膜が軟化して粘着や色うつりの原因になる場合があります。
- 14.水、アルコール系溶剤の混入は絶対に避けてください。
- 15.濃彩色や汚れた原色の場合、塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。衣類などと接触する可能性のある部位には使用しないでください。なお、状況により常時接触するような箇所を使用する場合は、ファインシリコンフレッシュクリヤーを上塗りに塗装してください。
- 16.つや調整品(7分つや有り、5分つや有り、3分つや有り)は被塗物の形状や

- 12.塩ビ鋼板の上に塗装する際は下塗りにニッペ塩ビ鋼板用ウレタンプライマーをご使用ください。
- 13.内部塗替えにおいて、旧塗膜がOP.FEなどの油性系の場合、研磨すりを行ってください。下地処理が不十分な場合は、塗膜はく離の可能性があります。
- 14.FRP、塩ビに直接塗装する場合は、下地調整(自粗し)を実施ください。厚肉硬質塩ビなど素材の種類により非常に密着し難い素材の場合がありますので、あらかじめ試験塗装を実施し密着性を確認してください。

- 1液ファインウレタンU100木部下塗 追加記載事項**
- ・釘頭は、ニッペ1液ハイボンファイテクトロを塗装してください。釘頭が発錆している場合は、研磨紙などでさびを除去し、ニッペ1液ハイボンファイテクトロを塗装してください。
 - ・新木の場合の乾燥程度は含水率15%以下としてください。下塗り塗装後、仕上り向上の目的で研磨を行う場合は、乾燥後研磨紙(#240~#320)で研磨、ウエスで拭き取り清浄な状態にしてください。

- 1液ファインウレタンU100弾性添加剤 追加記載事項**
- ・弾性添加剤を添加いたしますと、乾燥すると弾性塗膜となりますので、養生テープはナイフカットして取り外してください。

- 素地の状態、膜厚や色相などにより、実際のつやや若干違って見える場合があります。見本塗り板、またはあらかじめ試し塗りをして確認してください。
- 17.蓄熱されやすい素材(軽量モルタル、ALC、窯業サイディングなど)や断熱構造が強い場合で、旧塗膜が弾性リジンを弾性スタック、複層弾性塗のアクリトンプなどの弾性塗料の場合、環境条件によって、水や温度の影響で塗膜がトッていることがあります。そのまま塗装すると膨れがさらに拡大することがありますので、ケレンで除去するなどの入念な下地処理を行ってください。
 - 18.ドアパッキン、プラスチックなどの可塑剤を含むものに1液ファインウレタンを面が直接触れると、軟化したリ、付着によりはく離を起こす場合がありますので、接触が予想される箇所には塗装を避けてください。

- 1液ファインウレタンU100木部下塗 追加注意事項**
- ・1液ファインウレタンU100木部下塗]は、エポキシ系樹脂ですので、皮膚がぶれを引き起こすおそれがあります。肌に着着しないよう特に注意してください。
 - ・1液ファインウレタンU100は混合して使用しないでください。
- 1液ファインウレタンU100弾性添加剤 追加注意事項**
- ・JIS A 6021建築用防水材の上塗仕様としては使用できません。
 - ・本添加剤を少量小分けして使用する場合は、塗料に対して外割15%を精秤してください(添加量は遵守してください)。添加量が不足すると期待性能が発揮されない場合があります。
 - ・本添加剤を混合した塗料は、経時で増粘して塗装作業性、仕上がり性に支障をきたすおそれがありますので、混合後1週間以内を目安にご使用ください。

- 1液ファインウレタンU100フラットベース 追加注意事項**
- ・使用前に容器をよく振って、ご使用ください。
 - ・2液形の塗料に使用する場合、塗料と硬化剤を混合後に、つや消し剤を添加してください。
 - ・本品は塗料ではありませんので、そのまま塗装することはできません。
 - ・希釈は必ず本品を混入後、実施してください。本品は、使用する際は希釈量が減る場合がございますのであらかじめご了承ください。
 - ・使用後は容器のふたを完全にしめて保管してください。
 - ・弾性塗料の上塗りに使用しないでください。
 - ・使用する前にふた付近に付着した粉化物(つや消し剤)を取り除いてください。また使用後はふた付近に付着したつや消し剤を取り除いてください。フタの原因になる場合がございます。
 - ・つや消し剤の混入量は、最終ページのつや調整表を目安にご使用ください。下地、塗付量、塗装条件、色相によりつやや落ち方が異なりますので、実際に試し塗りをし、つやや程度を確認して落着方をご確認ください。
 - ・メーカー出荷のつや調整品とはつやの状態が異なります。
 - ・フラットベースと弾性添加剤の併用はできません。

■専用原色見本

●原色	●白：原色	●原色	●白：原色
ブラック	10：1	エココロオレンジ	14：1
オーカー	10：1	シャニンブルー	18：1
エココロエロー	16：1	シャニングリーン	14：1
インディアンレッド	18：1	バイオレット	14：1
ニユータフレッド	16：1		

※印刷物の為、実際の色とは異なります。
※色合いを見るために、白と原色の混合比率を変えてあります。





■危険物表示

商品名	1液ファインウレタンU100	1液ファインウレタンU100フラットベース	1液ファインウレタンU100弾性添加剤	1液ファインウレタンU100木部下塗	カラマックスFA	1液ハイボンファイテクトロ	ニッペ1液ファインシーラー	ニッペファイン浸透シーラー	
	化学名	合成樹脂エマルジョン塗料	合成樹脂クリヤー塗料	合成樹脂エマルジョン塗料	合成樹脂エマルジョン塗料	合成樹脂クリヤー塗料	合成樹脂クリヤー塗料	塗料液	硬化剤
危険物区分	第2石油類	第2石油類	第2石油類	第2石油類	第2石油類	第2石油類	第2石油類	第2石油類	第2石油類
危険等級	Ⅲ(火気厳禁)	Ⅲ(火気厳禁)	Ⅲ(火気厳禁)	Ⅲ(火気厳禁)	Ⅲ(火気厳禁)	Ⅲ(火気厳禁)	Ⅲ(火気厳禁)	Ⅲ(火気厳禁)	Ⅲ(火気厳禁)
有機溶剤区分	第3種等	第2種等	第3種等	第2種等	第3種等	第2種等	第3種等	第3種等	第3種等

■安全衛生上の注意事項 (ニッペ1液ファインウレタンU100 ホワイト)

- ・本来の用途以外に使用しないでください。
- ・使用前に取扱説明書を理解して、取り扱ってください。
- ・熱/火花/炎/高温のもののような着火源から遠ざけてください。禁煙です。
- ・容器を開封してください。
- ・容器および受器を接地してください。
- ・防塵型の電気機器/換気装置/照明機器を使用してください。
- ・火花を発生しない工具を使用してください。
- ・粉じん/ガス/蒸気/スプレー等を取り扱ってはいけません。
- ・屋外または換気のよい場所でのみ使用してください。
- ・必要に応じて個人防護具を使用してください。
- ・取扱い後は、手洗いおよびうがいをしてください。
- ・適切な保護手袋/保護眼鏡/保護面罩/保護衣を着用してください。
- ・必要に応じて個人防護具を使用してください。
- ・吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。
- ・飲み込んだ場合：気分が悪い時は、医師に連絡してください。次に、口をすすいでください。
- ・目に入った場合：水で数分間注意深く洗ってください。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外れる場合は外してください。その後洗浄を続けてください。
- ・眼刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けてください。
- ・皮膚や髪に付いた場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ取り除いてください。皮膚を流水かシャワーで洗ってください。
- ・皮膚に付いた場合、多量の水と石鹸で洗ってください。
- ・皮膚剥離または発疹が生じた場合は、医師の診断/手当てを受けてください。
- ・直ちに、すべての汚染された衣類を脱いでください/取り除いてください。再使用する場合は洗濯してください。
- ・粉じん、蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった時には、安静にし、必要に応じてできるだけ医師の診察を受けてください。
- ・暴露した時、気分が悪いなどの症状がある場合は、医師に連絡してください。
- ・緊急の洗浄剤が必要な場合、直ちに特別処置を実施する。
- ・火災発生時は、炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。
- ・水を消火に使用しない。
- ・容器からこぼれた際には、布で拭き取った水を要した容器に保管してください。
- ・施設して子供の手の届かないところに保管してください。
- ・直射日光や水濡れに厳禁です。
- ・積み重ねは3段までとってください。
- ・日光から遮断し、換気のよい場所で保管してください。輸送中も50℃以上の温度に暴露しないでください。
- ・内容物/容器を廃棄する時には、国/地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。
- ・塗料、塗料容器、塗料を廃棄する時には、産業廃棄物として処理してください。
- ・容器、塗料を廃棄する時は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設を持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

※上記の表示は、一例です。色相などにより、容器の表示とは異なる場合があります。
 □詳細な内容、表示例以外の商品については、製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。
 □本商品は日本国内でのみで使用し、輸出される場合は事前にご相談ください。

危険	危険有害性情報
   	引火性液体および蒸気/皮膚刺激/強い眼刺激/発がんのおそれの疑い/生殖能力または胎児への悪影響のおそれ/呼吸刺激を起こすおそれ。または、眼やめまいのおそれ/長期にわたるまたは反復暴露による臓器の障害のおそれ/水生生物に非常に強い毒性(急性)/長期の影響により水生生物に非常に強い毒性